

Project 4 オープンデータ徹底活用 プロジェクト

オープンデータによる民間のサービス創出などを通じ、都政のQOSを継続的に向上



プロジェクト概要



2021.12 進捗状況



ご意見・ご感想



- 行政が保有する「データ」は、社会課題を解決し新たなサービスを生み出す社会的資源です
- 民間企業やシビックテック等がデータを活用し、利便性の高いサービスを創出できるよう、ラウンドテーブルの開催などにより伺った民間ニーズを踏まえ、オープンデータカタログサイトでデータを積極的に公開していきます
- また、オープンデータ・ハッカソンを開催し、新サービスの創出を促進します
- こうした活用事例を積み重ね、それがデータ公開を一層進め、都民サービスの更なる向上が図られるという好循環を作り、都政のQOSを継続的に向上させていきます

2022年度の展開

都知事杯オープンデータ・ハッカソンを開催し、シビックテック等との協働で新たなサービスを創出します

「ハッカソンのスケジュール」

シビックテック等との協働による新サービス創出



サービス案検討・開発
(2021年度実績：12月15日～19日)



知事表彰

2021年度最優秀賞受賞チーム ToDCS



サービス案の募集

(2021年度実績：11月5日～12月8日)

約**300**人応募目標

キックオフイベント

(2021年度実績：12月15日)

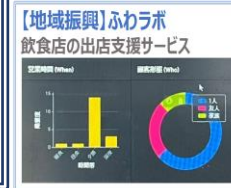


FIRST STAGE

(2021年度実績：1月15日)



2021年度 優秀作品



新サービスを創出
5件

※2022年度はスケジュールなどに変更の可能性あり

2022年度の展開

- 各局が保有するデータの棚卸し結果を踏まえ、民間ニーズの高いものからオープンデータカタログサイトで公開します
- カタログサイトはユーザー意見を踏まえた改善を行い、サイトへのアクセス数1,000PV/日達成を目指します
- ラウンドテーブルやハッカソンの参加者を中心に意見交換会を継続的に実施し、官民協働の土台を作ります

オープンデータカタログサイト

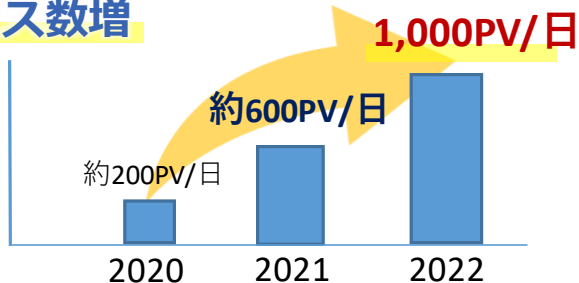


これまでの改善

- サイトデザイン刷新
- オープンデータ活用事例を紹介
- トップページにデータの最新情報欄追加
- データ品質向上に向けたチェック機能を導入 (2021年度末導入予定)

- ✓ ユーザー意見を踏まえた改善
- ✓ API化によるユーザーの利便性向上
- ✓ データ棚卸し・ニーズの高いデータの公開

アクセス数増



データを活用したサービス開発事例

河川監視カメラの位置情報をマップ上で可視化



河川カメラダッシュボード

子育て層のお出かけ先やおむつ替えスペースがある施設情報を掲載



いこーよ

府中市のバリアフリートイレ情報を可視化



府中バリアフリートイレMAP

意見交換会の実施



ラウンドテーブル



官民協働の土台形成

都知事杯オープンデータ・ハッカソン参加者



ハッカソン

官民協働を促進
更なるオープンデータ促進

オープンデータ・ラウンドテーブル概要

開催目的

- データ活用を希望する民間企業等からのニーズを東京都が直接聴取することで、都をはじめとする行政のオープンデータ化の取組を推進
- 成功事例の創出によりオープンデータ化に対する都職員の意識改革を促進



第2回ラウンドテーブルの様子

これまでの取組実績

第1回（令和3年2月）

- 分野を限定せずに実施
- 市民開発者や大学教授、民間企業から提案
- EVの点検情報や観光に関する調査報告書など、既に公開されているデータについて、CSV形式での公開を要望
- 令和3年4月下旬公開

第2回（令和3年10月）

- 環境分野に限定して実施
- 民間企業や大学教授から提案
- ごみ排出量やPM2.5等の大気汚染データなど、これまで公開していないデータについて、オープンデータとして公開を要望
- 令和4年3月に公開

第3回（令和4年3月）

- 防災分野に限定して実施
- 民間企業から提案
- 避難所や点群データなど、これまで公開していないデータについて、オープンデータとして公開を要望
- 避難所等は令和4年4月に公開予定
- 点群データ（多摩地域）は令和4年度にデータ取得後、令和5年度以降に公開予定